

令和4年度 第41回静岡県中学校6人制バレーボール選手権大会 新型コロナウイルス感染症予防マニュアル

本マニュアルは、「令和4年度 静岡県中学校体育連盟 静岡県中学校総合体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」および、日本バレーボール協会による「大会運営ガイドライン 2021.03.05 更新版」等をふまえて、現段階で得られている知見に基づいて作成しています。今後の新型コロナウイルス感染状況などにより、随時見直すことがあり得ることにご留意ください。

【大会開催に当たっての基本的な考え方】

- 1 感染源を絶つ（参加者の健康管理）
- 2 感染防止の3つの基本
 - ア. 身体的距離の確保
 - イ. マスクの着用
 - ウ. 手洗いなどの徹底
- 3 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
- 4 安全な活動環境の確保

1. 感染源を絶つ（参加者の健康管理）

- (1) 本大会の関係者（大会役員、審判、チームスタッフ、選手）は、体調記録表（別紙2）に大会開始2週間前からの記録を行い、健康管理を徹底する。
- (2) チームスタッフは、大会当日受付時に、参加者（選手・チームスタッフ・保護者）の同意書（別紙1）を提出する。体調記録表（別紙2）に、風邪の症状などが認められる選手やチームスタッフ等は、大会に参加できない。直近に発熱等の症状があった場合は、医師の診断により許可が出ている場合やPCR検査の結果陰性であることが確認できた場合は参加を認める。インフルエンザの罹患については、発症後5日・解熱後2日が経過していることを確認すること。
- (3) 新型コロナウイルス感染や濃厚接触に伴う出席停止期間（各地区や各校の定める期間）中は、大会に参加できない。
- (4) 大会本部は、同意書を提出した者以外の来場者（大会役員など）に対して、来場者体調記録表（別紙4）の記入を徹底する。
- (5) チームスタッフ等は、集合時、更衣時、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食時、解散時等、こまめに選手の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。
- (6) 大会本部及び、チームスタッフ等は、大会中に選手などの体調不良を確認した場合、医療機関や保護者等と連携し、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

2. 感染防止の3つの基本

ア 身体的距離の確保

- (1) 開・閉会式は実施しない。代表者会議についても行わず原則書面にて諸注意を伝達する。
- (2) 試合開始および終了時のあいさつは、エンドライン上で行い、握手はしない。
- (3) 出場校は、円陣や仲間と手をつなぐ、ハイタッチ、グータッチ、肘タッチなどの体を接触させる行為を行わない。
- (4) 試合が終了したチームは、速やかに会場を離れるようにすること。

イ マスクの着用

- (1) 大会関係者（大会役員、審判員、チームスタッフ、選手）および来場者は、各自マスクを準備し、プレー中ならびに昼食時等をのぞいて、原則マスクを着用して参加する。
- (2) 試合に臨む際の選手及びチームスタッフのマスク着用については、以下の通りとする。
 - ①試合に臨むすべての選手は、合同練習開始から試合終了まで、マスクを外しても良い。ただし、それ以外は着用する。（合同練習前のアップはマスクを着用して行うこと。）
 - ②チームスタッフは、試合中においてもマスクを着用する。
- (3) マスクを着用時も、声をそろえての応援は行わないこととする。（選手・スタッフ・観戦者）

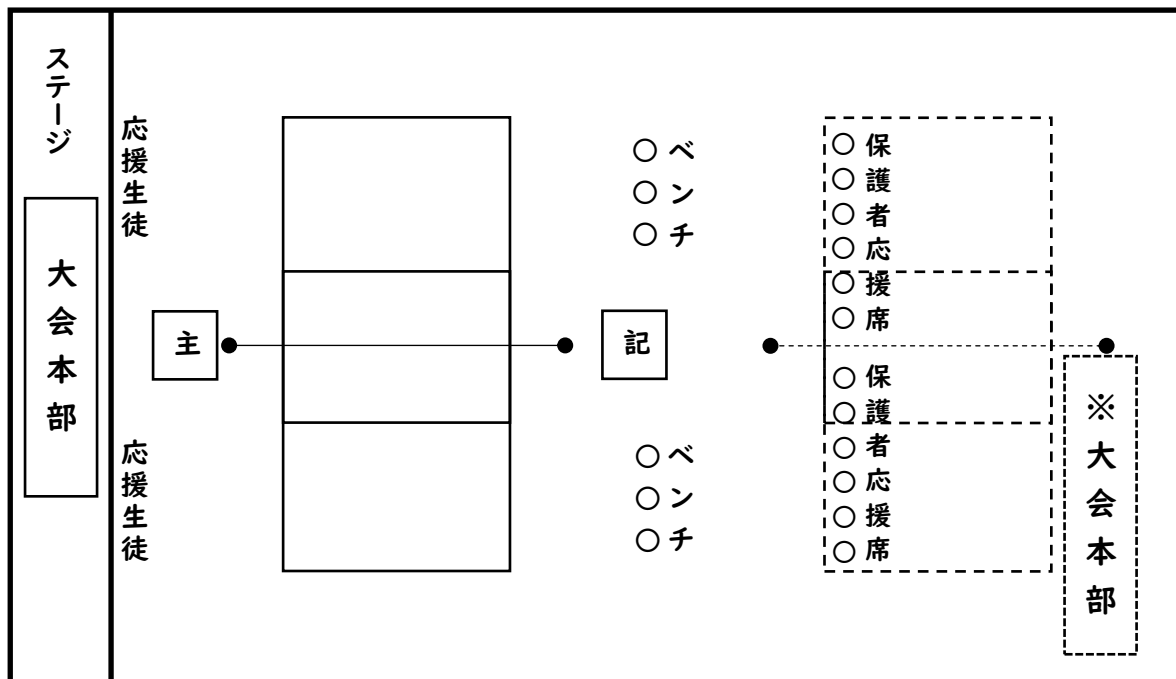
ウ 手洗いなどの徹底

- (1) 大会本部において、こまめな手洗い消毒が行えるよう、利用施設と連携して石けんや消毒液等を設置する。出場校においても、各自消毒液等を持参し、感染防止に努める。
- (2) チームスタッフ等は、こまめに流水と石けんで手洗いを行うとともに、消毒液等を用いて感染防止に努めるよう、選手に指導する。
- (3) チームスタッフはコートチェンジの際に、ベンチを消毒してから移動する。保護者及び学校関係者は、自分で座った椅子を持って移動する。
- (4) ベンチ及び保護者の観戦スペースに消毒液を配置し、自由に使用できるようにするとともに、試合間には、大会役員による消毒液の噴霧および拭き取りを行う。

3 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避

- (1) 今大会において、大会会場（敷地内）に入場できるのは、以下の通りとする。
 - ①選手は、参加申込書に記載された登録選手18名以内とする。選手についてはユニフォーム及びチームで統一した服装にて判断するので、チームスタッフの責任で人数について徹底すること。大会本部で不明な点が生じた場合は、チームスタッフに問い合わせ、適切な対応を求める。
 - ②チームスタッフは、監督・コーチ・マネージャーの最大3名とする。（マネージャーは生徒でも可。）
 - ③保護者の入場は、各チーム最大6名とする。保護者及びチームスタッフは、IDカードをつけた者のみフロア（観客席）に入場することができる。IDカードは出場校に送付するデータをもとに、各校で準備すること。
 - ④その他：主・副審ならびに生徒役員、大会運営役員、報道関係者等（若干名）大会役員についても、当日本部にて配付するIDカードを身につけること。
- (2) 選手控え室の利用は短時間とし、密集場면을極力避けること。また、控え室内でのミーティングは行わないこと。なお、控え室への保護者の入場は、許可しない。
- (3) 保護者控室は用意しない。待機時は体育館から出て、密集を避けるようにする。
- (4) チームスタッフは各会場の指定された場所で観戦すること。
- (5) ベンチや応援席の間隔を広く取り、密集することのないように配慮する。保護者は応援席の椅子に座って観戦する。

<学校会場のレイアウト（例）>



- ・体育館の広さや構造に応じてベンチや応援席の場所を変更するなど、各会場校の状況に応じてレイアウトを変更してよい。
 - ・ベンチは3名分の椅子を準備する。
 - ・保護者応援席は6名分の椅子を準備する。ビデオ撮影は、保護者用ベンチ横や、2階通路など、会場によって指定する。
- ※ステージがない（使用できない）場合は、大会本部を使用していないコート後方に設置する。

4 安全な活動環境の確保

- （1）本大会の関係者（大会役員、審判、チームスタッフ、選手、観戦する保護者）は、大会開始2週間前からの行動を、行動履歴書（別紙3）に記録する。
- （2）大会本部は、参加校に対し大会の主旨、感染拡大予防マニュアルを周知徹底する。参加校は感染症対策マニュアルを熟読の上、参加生徒の健康面を踏まえ、大会参加の可否を判断する。学校長が大会申込書に押印し、当日、大会本部に提出すること。チームスタッフは、大会に参加する選手及び保護者に対し、参加に当たっての注意事項等を事前に説明し、同意書（別紙1）を提出させる。同意書は、チームスタッフが大会当日受付に提出すること。
- （3）選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意見聴取などが求められることも想定し、チームスタッフや学校等と保護者が確実に、速やかに連絡が取れる体制を整えておくこと。